

令和2年度 産業経済部長「政策宣言」達成状況

産業経済部長 谷口正浩

○ 令和2年度重要事業

| | |
|---------|---|
| 事業名 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業等への支援 |
| 目標 | 同感染症の影響により経営に多大な影響を受けている中小企業等（小規模事業者を含む。）の資金繰り等支援策として、市独自の助成制度を実施します。 |
| 年度末達成状況 | 市独自の支援制度として、信用保証料の全額助成をはじめ、事業継続支援金、事業向上補助金、テイクアウト・宅配導入支援事業、うまいもん券（第1弾、第2弾）、キャッシュレス決済ポイント還元・消費喚起事業などの支援策を実施しました。 |
| 自己評価 | 市独自の支援策を適時に次々と打ち出し、中小企業者の支援の一助になった。一方で課題もあるため、引き続き事業の効果や課題を検証し、継続的な効果のある支援に努めます。 |

| | |
|---------|---|
| 事業名 | 観光客受け入れ環境の充実 |
| 目標 | クロスベイ新湊は、観光客への観光情報の提供はもとより、公共交通ターミナルとして市内移動の拠点となることから、これを軸とし、内川周辺ほかベイエリア、更には、市全体へ波及できるよう観光客の受け入れ環境の充実に図ります。 |
| 年度末達成状況 | アフターコロナを見据えた外国人観光客の受入態勢の構築を図るため、QRコードを読み込むことで多言語で市内観光情報を提供する「多言語観光案内カード」を作成し、クロスベイ新湊に設置しました。 |
| 自己評価 | 引き続き、クロスベイ新湊を中心として、観光客への情報発信の充実に努めます。 |

| | |
|---------|---|
| 事業名 | 大区画ほ場整備の推進 |
| 目標 | 生産性の向上に資する ICT 等を活用したスマート農業が展開できるよう「ほ場の大区画化」を推進し、農業の持続的な発展と農村環境の保全を図ります。 |
| 年度末達成状況 | 水戸田地区は換地作業が終了し事業が完了しました。また、島地区及び作道地区のほ場整備事業は、計画どおり県の調査が行われ事業化に向け順調に進捗しています。 |
| 自己評価 | 本年度予定した事業が計画どおり進み、併せて高岡農林振興センターとともに地元説明会を開催するなど、精力的に地域の支援を実施しました。ほ場整備は持続的な農業の発展の礎となることから、引き続き支援します。 |